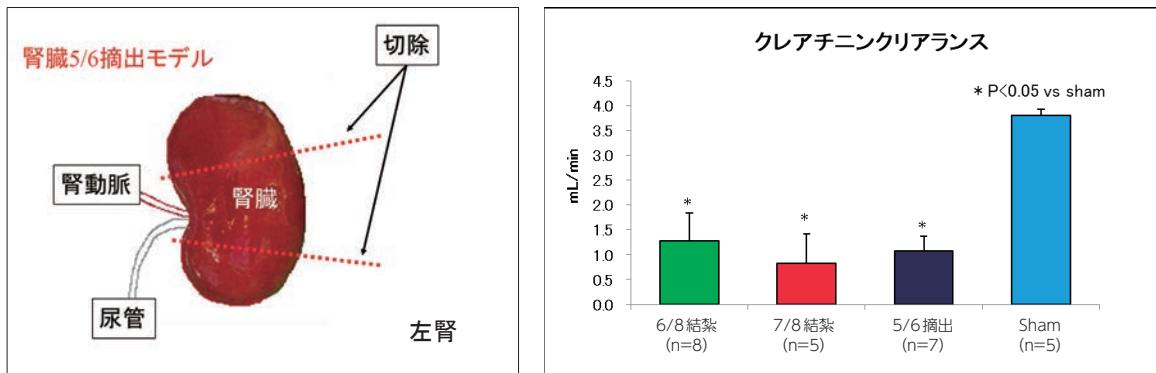


外科処置モデル

■ 腎不全モデル

腎不全は、糸球体濾過率(GFR)が低下し、血清クレアチニン値が上昇する。急性腎不全では、急速な機能低下によって体液のホメオスタシスが維持できず、アシドーシス、電解質異常、高窒素血症、尿毒症症状を認める。慢性腎不全(CKD)では、不可逆的にGFRが50%低下し、血清クレアチニンが2.0mg/dL以上に上昇(クレアチニクリアランスの低下)して、腎臓が障害される。そこで、ラット(Slc:SD)の各種腎不全モデル動物のクレアチニクリアランスを検討した。

腎不全モデル	対象手術
腎動脈6/8結紮モデル	左右腎動脈3/4結紮
腎動脈7/8結紮モデル	左腎動脈3/4結紮後、右腎臓全摘出
腎臓5/6摘出モデル	左腎2/3切除後、右腎臓全摘出
腎臓1/2摘出モデル	片側腎臓全摘出



クレアチニクリアランスは、Sham群を除く全ての群で著明に低下した。

■ 神経因性疼痛モデル

神経因性疼痛モデル動物は、CCIモデル、PSNLモデルおよびSNL (Segmental Spinal Nerve Ligation) モデルを含む癌性疼痛や炎症性疼痛および変形性膝関節症などの多くの病態モデル動物が知られている。これらのモデル動物は、機械刺激性アロディニアや自発痛および関節痛を発症することから、様々な疼痛の研究に利用されている。今回、ラット(Slc:SD)を用いた坐骨神経絞扼(CCI)による神経因性疼痛モデルを作製し、Von Freyテストによる痛覚過敏反応を検討した。

モデル動物	損傷部位	疼痛(種類)	作製方法
CCI (Bennett model)	坐骨神経(絞扼)	Mechanical allodynia Mechanical hyperalgesia	4-0 silk絞扼
PSNL (Seltzer model)	坐骨神経(部分結紮)		7-0, 4-0 nylon 1/3~1/2結紆
SNL (Chung model)	脊髄神経(部分結紆)		L5(+6) 6-0 silk結紆

